



TITLE:

ティーチェ氏病ノ一例

AUTHOR(S):

姫井, 淑

---

CITATION:

姫井, 淑. ティーチェ氏病ノ一例. 日本外科宝函 1932, 9(2): 312-313

ISSUE DATE:

1932-03-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/201757>

RIGHT:

# テ ィ ー チ ェ 氏 病 ノ 一 例

京都帝國大學醫學部外科學教室(鳥潟教授)

副 手 醫 學 士 姫 井 淑

## Ueber Tietzesche Krankheit (Dystrophie des Rippenknorpels).

VON

Dr. K. Himeï.

[Aus der I. kais. chir. Universitätsklinik Kyoto (Prof. Dr. R. Torikata).]

患者： 富○憲○ 21歳 男 昭和6年6月9日入院。

主訴： 右前胸上部ノ無痛性隆起。

病歴： 遺傳的關係ニ特記スベキコトハナイ。

今度ノ病氣ハ昭和5年12月何等誘因ナク右前胸上部ニ輕イ膨隆ガアルノヲ認メタ。全ク苦痛ハナイガ漸次膨隆ハ其度ヲ増シテ今日ノ如クナツタ。而シテ本年5月下旬カラハソノ部ニ時々自發痛ヲ覺エルヤウニナツタ。初メヨリ咳嗽咯痰ハナク食欲ハ良好デアル。

現症： 體格中等榮養佳良他ニ特記スベキコトハナイ。

局所ヲ診ルト右鎖骨下デ胸骨縁ニ近ク瀰漫性ノ膨隆ガアル。該部ノ皮膚ニハ何等變化ハナイ。局部温度上昇ナク軟骨硬デ第2肋軟骨部ニ當リ壓痛ハ殆ンドナイガ壓ニヨリ不快感ガアル。コノ膨隆ヲ覆ヘル皮膚ハヨク移動スル。

レントゲン寫眞ニテハ右肋軟骨ガ左ニ比シテ少シ幅廣ク見エル他ハ局所ニ何等變化ハナイ。

診斷： 以上ノ所見カラ肋軟骨「カリエス」ノ診斷ガ下サレタ。

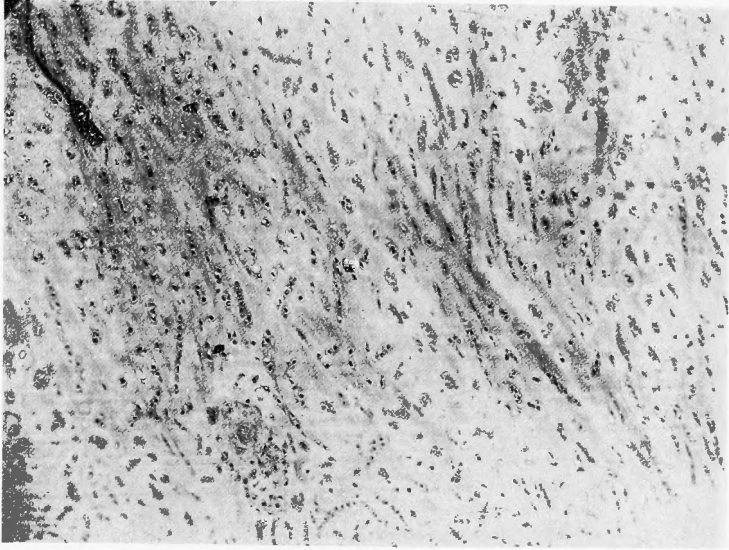
手術： 「ペルカイン」ノ傳達及浸潤麻醉ノ下ニ右第2肋骨上ニ約12釐ノ皮膚切開ヲ施シ皮下組織、筋膜、筋肉ヲ銳性ニ扒開シテ肋軟骨ニ達スルモ「カリエス」竈ニ於テ見ルヤウナ變化ヲ認メナイ。依テ軟骨膜内肋軟骨切除ヲ行ツタガ軟骨膜ノ剝離ハ左程困難デハナク第2肋軟骨全部ヲ約1釐ノ肋骨ト共ニ切除シタ。

標本： 病理解剖の所見トシテハ中央部ニ輕度ノ肥厚ガアリ幅ガ少シ廣ク他ニ色調硬度等ニ變化ハナイ。切除軟骨片ノ組織學的檢索ヲ行フモ軟骨組織ハ基質細胞共ニ正常ノ組織像ヲ呈シ炎症性徴候ハ全ク認メラレナイ。又退行變性ノ像モ認メラレナイ。(附圖第一及ビ第二參照)。

# 姫井論文附圖

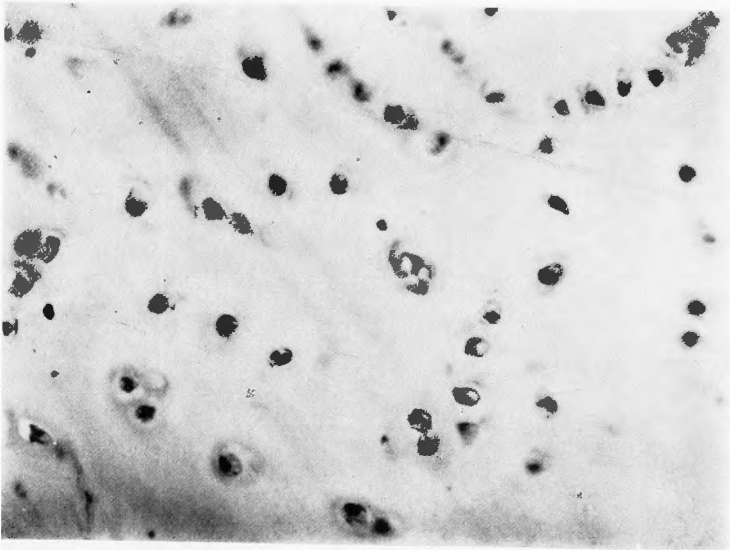
## 第一圖

(100倍)



## 第二圖

(450倍)



考察： カヤウニ肋軟骨疾患ノ診斷ニ際シテ肋軟骨「カリエス」ニ疑ヲ置キ之ニ手術的侵襲ヲ加ヘ「カリエス」性變化又ハ病的ト認ムベキ變化ヲ證明スルコトナク唯肋軟骨ニ輕度ノ肥厚ガ認メラレル以外ニハ特記スベキ變化ヲ示サナイコトガアル。カクノ如キ疾患ノ存在スルコトヲ Tietze氏ガ1921年始メテ報告シテキル。本邦デハ後藤、宮崎諸氏ノ報告ガアル。

本疾患ハ局所ニハ此患者ノ如ク輕度ノ膨隆ト壓痛ガアル他何等炎症性其他ノ病的徵候ヲ認メナイ。極ク慢性ノ經過ヲトリ統計上20年代ノモノニ多ク上部肋軟骨ニ來ルモノガ多イ。大多數ガ既往歴現在症ニ結核性疾患ヲ有スルガ病理解剖學的組織學的檢索ノ結果デハ本疾患ト結核トノ關係ヲ立證スルニ足ルベキ根據ヲ見出シタ者ハナイ。

本疾患ノ本態ニツイテハ Tietze 氏ハ榮養障害ニヨツテ起ル肋軟骨ノ纖維性崩壊石灰沈着ヲ舉ゲ Harttung 氏ハ肋軟骨早期化骨ヲ舉ゲ後藤氏ハ組織的ニ何等ノ變化ヲ認メナイト云ヒ宮崎氏ハ軟骨組織ノ退行變性ノ像ヲ證明シタガ多クハ生理的ニモ證明セラレル範圍ヲ越ヘナイト報告シテキル。要スルニ組織學的ニハ本疾患ニ特有ナ變化ハ見出サレテキナイ。膨隆トカ疼痛トカ臨床的徵候ノ説明ハナホ充分ニハ與ヘラレテキナイ。

本患者モ手術的所見ニモ組織學的所見ニモ炎症性徵候ヲ缺イデキル。年齢ハ21歳デ上部肋軟骨ニ來テキル所カラ Tietze 氏ガ始メテ記載シタ疾患ト同ジモノデアル。

何等ノ病變ガ立證サレヌトシテモ臨床上ニハ一定ノ障礙ガアルカラ切除術ヲ行フコトハ合理的デアル。

### 主 要 文 献

- 1) Tietze, A., Über eine eigenartige Häufung von Fällen mit Dystrophie des Rippenknorpels. Berl. kl. Wochenschrift 1921, S. 829.
- 2) Fröhlich, Rippenknorpelerkrankung. Zentralblatt für Chirurgie 1922, S. 225.
- 3) Harttung, Über eine eigenartige Rippenknorpelerkrankung. Zentralblatt für chirurgie 1923, S. 333.
- 4) 後藤七郎, 一種ノ肋軟骨疾患ニ就テ 實驗醫報 第9年, 339頁.
- 5) Schubert, H., Die Osteomyelitis der Rippen und des Brustbeins. Die Chirurgie IV. Band. II. Hälfte. S. 704.
- 6) 宮崎松記, 一種ノ非炎症性肋軟骨疾患ニ就テ. 日本外科學會雜誌, 第32回. 第2號. 312頁.